

V 所 感

V 所感

1 団長所感

- (1) インドネシアでは6月以来スマトラ島、カリマンタン島、ジャワ島の各地で森林火災が続き、その焼失面積（森林部分）で11月初旬現在で165千haに及んでいる。火災の主たる原因としては、伝統的な焼き農法に基づく火入れ、ゴム、パーム・オイルのプランテーション開発業者による火入れ、密猟者によるタバコ・炊事火の不始末等が取り沙汰されているが、例年にない小雨、異常乾燥の影響もあり火災地域は拡大の一万であった。被害はインドネシアの森林焼失に止まらず、特にその煙害は近隣諸国のシンガポール、マレーシア、ブルネイにも及び各国住民の健康、社会生活に大きな影響を与えた。
- (2) 森林火災に対しインドネシア政府は軍・地元住民とともに必死の消火活動を行ったが、広大な森林面積、人材・消火機材の不足、山中における水不足等により十分な成果を上げなかった。そこでインドネシア政府は日本を含む友好国に支援を求め、これに応え日本政府は、物的支援（携帯用放水器、ポンプ等消火用機材の供与）、資金的支援（防塵マスク購入のための資金供与）、人的支援として第一次専門家チーム（医師・消防専門家等6名）及び今回の第二次専門家チーム（消防専門家等13名）の派遣を行った。

ア 派遣の意義等

- (7) 各国からの支援は、消火用機材の供与あるいは人員及び軽飛行機等を派遣しての陸上・空中からの消火活動が中心であった。これに対し我が方からの支援は、物的・資金的支援に加え、日本から搬送したヘリコプター2機を用いた空中から火災地点のモニタリングという、「イ」政府はもとより他国が行わない特殊な支援であったことに大きな意義がある。

「イ」政府関係等関係者は一様に、日本チームが展開する“新たな調査手法”に目を見張らせ、大きな期待を寄せた。特に一面に広がる煙霧のなかで火元を見だし、赤外線カメラによる熱画像撮影は的確な火元把握、泥炭層地中火災の把握に効果を発揮した。今後「イ」政府としても積極的にかかる機材を導入し、独自の消火活動を展開したい旨述べる者が多かった。

- (4) 我が国援助隊が空中モニタリングで調査した火災地点の延焼状況、延焼範囲等の日毎のデータはその日のうちに「イ」政府関係機関に提供し、「イ」政府が行う消火活動に役立てた他、豪州・米国の空中消火チームにも提供された。

豪州、米国はそれぞれ本国よりの飛行機を用い空中消火活動を展開したが、我が国援助隊と豪州消火チームとの空中共同作戦が2日間とはいえ展開できたことは効果的であった。

- (9) 援助隊はランブン州全域のモニタリング調査の終了に伴い、全調査結果を網羅した報告書（空中写真、ビデオ、熱画像分析、分析結果等）を中央及び州政府に報告・提供した。右報告に対し「イ」側よりは、貴重な資料として今後の防災、植林等に役立てたいとして、援助隊の功績を高く評価する旨述べたところがあった。

- (5) 援助隊の派遣及び活動については関係大臣を始め多くの関係者から深甚なる謝意表明がなされ、またそれらがインドネシア国営TV及び全国日刊紙にて随時報道された。かかる「イ」側の姿勢・報道振りに鑑みれば、今次援助隊の派遣は少なから

ず日・「イ」の友好関係促進に寄与したものと確信する。

(4) 広大な森林火災に対する「イ」政府の消火活動は、村単位の小規模な地上活動が主体であり、山奥の火災に対しては手の施しようがないのが実状であった。

他方、豪州・米国による空中消火も一時的かつ部分的には成果を見せたが、完全な消火は困難であり、延焼は続き、煙は場所を変え方々で上がり、完全な鎮火を見るには雨季の到来を待つほか方法がないように思える。

(5) 専門家チームは43名をもって構成され、人員及びヘリコプターを提供した消防機関は自治省消防庁、東京消防庁、名古屋、横浜、大阪各市の消防局にまたがったが、隊員一同の志気及び団結力は高く、無事故のうちに任務を全うできたことは有り難き幸せであった。チームの構成規模、編成は適切であり、特に医務官及び看護婦の配慮を願えたことは、40度近い過酷な条件下で任務を遂行する隊員には大きな支えであった。なお、援助隊は当初目的のランブン州全域のモニタリング終了に伴い撤収したが、全調査終了という区切りがついたため、「イ」側の不満を残すことはなかった。

(6) 任務遂行に際しては、在インドネシア日本大使館及びJICAインドネシア事務所の全面的な協力を載いたが、もとよりこれら協力なくしては援助隊の円滑なる任務遂行はあり得なかったことを特記し、厚く御礼申しあげる。

なお、「インドネシア森林火災予防計画」プロジェクトの下に本邦より派遣されている専門家3名よりも全面的な協力を得たが、併せ御礼申し上げる。

イ インドネシア政府の評価

(7) 10月23日、川上在インドネシア大使がスハルト大統領に信任状を捧呈した際に、大統領は大使に、今次派遣に対する謝意を表明するところがあったが、大統領よりの直々の謝意表明は「イ」政府最大級の評価の類れである。

(8) 専門家チームの帰国前日には、国民福祉担当調整大臣主催の昼食会が催された。席上大臣代理より隊員一人一人に対し、大臣署名入りの感謝状と記念品が贈呈されたが、かかる姿勢は心温まる感謝の証である。

(9) 帰国日の11月10日にはスハルト大統領臨席の下に「国際環境セミナー」が開催され、隊員代表5名は右開会式に招かれ、大統領の開会挨拶を拝聴する榮譽を受けた。

ウ 結語

(7) 専門家チーム帰国後の10日程してインドネシアの各地で雨が降ったとの報道があり、森林火災の現場を見てきた者としては喜びに耐えない。

(8) 3週間も森林火災を相手にしていると一瞬のうちに過ぎ去った感がする。消防関係者と親しく接触するのは最初であったが、規律を重んじ、団結心が強く、人間味のある消防の方々と一緒に仕事をできたことを名誉に思う。

2 副団長所感

今回の我が国のヘリコプター2機を含めた43名の援助隊員の派遣は、1991年5月のバンラデシユのサイクロン災害派遣時に次ぐ最大規模の派遣であった。

火災対応の専門家である消防隊員を中心としたチーム編成は、直接消火活動を行うオペレーションでなく森林火災の状況を上空からモニタリングする任務ではあったが、その情報の収集・分析力と行動力等から正に適當であったと考える。

ランブン州は、比較的ヘイズの影響が少なく、それ故ヘリコプターによる上空モニタリングが実施できた訳であるが、援助隊が提供した上空からの写真と映像は、ランブン州災害対策本部において全く持っていなかった情報で、火災発生箇所等の把握や消火対策に有益な情報として活用されたものであり、今時の森林火災に対する我が国援助隊の果たした役割はきわめて大きかったと判断する。

また、赤外線ビデオカメラ等を使用したモニタリングの手法にインドネシア側が強い関心を示し、今後その手法を導入したい旨のコメントがある等、その点についても貢献があったと思料する。

実際のオペレーションは、現地の大使館員やJICA事務所員等のサポートを得ながら、予め定められた航空部、専門家部、調整折衝部、広報部及びロジ部が互いに連携し、安全で効率よく実施されたと思う。特に、日本と飲料水や食事、気候温度等の活動環境が著しく異なるなかで、21日間の予定した活動を全く修正することなく、無事故で完遂できたことに安堵しており、各隊員のすばらしい働きに心から感謝する。

インドネシア国の森林火災と煙害は、人間の健康や動・植物の生態に与える影響は深刻で、その主たる原因の多くが、ゴム園やヤシ園等を経営する大企業の手によって習慣的に行われる焼き畑・火入れ等によるものと言われているだけに実に残念であり、太陽の光が閉ざされた濃い煙の中で長期間じっと堪えて生活している住民の気持ちを察すると心が痛む。

また、単に森林火災の消火という問題に言及すれば、派遣されたランブン州だけでも、山間奥地に多くの森林火災箇所があったし、東部の国立公園の火災は広範囲で消火の難しい泥炭層地域の火災であり、これら火災の鎮圧には、地上や上空からの消防装備力を有した多くの部隊の投入と戦術的な消火活動が必要であり、被災国であるインドネシアの中長期的な体制づくりが必要と判断する。併せて、多くの森林が焼失し地肌を露出した山間地域が随所に見られたが、これら地域は明らかに保水能力を失っており、集中豪雨の際の二次的災害の発生も懸念されることを申し添え、私の所感とする。

卷 末 資 料

1 現地報告書（和文）

平成9年11月8日

インドネシア森林火災(ランブン州)における 国際緊急援助隊の活動報告

1 日本チームの任務等

(1) 派遣人員等

・ 専門家チーム

外務省2名・自治省消防庁1名・消防隊員34名・JMTDR 2人・JICA 4人

合計 43名

・ ヘリコプター2機(東京消防庁1機、名古屋市消防局1機)

(2) ランブン州における活動期間

10月28日～11月7日 11日間

(インドネシアにおける滞在期間は、10月22日～11月10日の20日間)

(3) 任務

ランブン州における森林火災の状況を空中モニタリングにより情報収集・分析し、現地における地上消火隊及び空中消火隊等に必要な情報の提供を行うことを任務とする。

2 活動要領

(1) ヘリコプターによる森林火災のモニタリング

人工衛星からのホットスポット情報及びインドネシア側からの地上情報等を参考として、ランブン空港を拠点にヘリコプターの活動可能空域内の森林火災をモニタリングし、火災発生箇所の位置(緯度・経度・空港からの方位、距離)、燃焼規模、周囲の状況等について調査カードを作成するとともに、地図上にプロットする。

調査に当たっては、ヘリテレビデオ、写真及び赤外線カメラ等を使用する。

(2) 調査結果の分析及び情報提供

モニタリング結果をもとに、大規模森林火災に発展する危険性及び付近住民への影響度並びにヘイズの状況等を分析し、インドネシア関係機関に情報提供を行うとともに他国の援助機関等に対して協力・連携等を行う。

3 活動結果

(1) 空中消火部隊への情報提供と連携結果

① 日本チームは、10月29日～10月30日までの2日間、ランブン空港で活動中のオーストラリア隊と連携して、延焼拡大中の大規模森林火災の空中消火活動の支援を行った。(火災発生場所の特定・誘導・情報提供・消火効果の評価及びビデオ・写真撮影)

特に10月29日に行った活動では、日本隊ヘリコプターが目標火災地点付近でホバリングし、オーストラリア隊に進入方向等の誘導を行うとともに、消火剤投下ポイントに達したときに合図を送り、消火剤が確実に延焼地点に散布されたことを確認した。

(連携の様子は別添イラストのとおりで、詳細映像はビデオに収録。)

② インドネシア空軍消火部隊に対しては、ホットスポット調査内容及び位置等の情報提供を行った。

(2) スマトラ島ランブン州における森林火災のヘリコプターによるモニタリング結果

10月28日から11月6日までの10日間に行ったヘリコプターによるモニタリング飛行回数は、延べ54回実施し、26箇所の森林火災を把握した。(詳細な内容については、別添の調査カード及び位置図のとおり。)

把握した火災のうち、大規模森林火災に発展もしくは発展の可能性の認められる火災は12箇所であった。

(3) ヘイズの状況について

10月28日から11月3日までは風向が北向きであったこともあり、周辺上空の視界は比較的良好であったが、11月4日から6日までは風向が西向きに推移したことにより、ワイカンバス国立公園内の泥炭層地域から主に拡散してきたと思われるヘイズがランブン州の広範囲を覆う状況に至り、極端に視界が悪化した。

(4) ヘリコプターのフライト実績

	フライト延べ回数	フライト延べ時間	フライト延べ人員
ヘリ2機	54 回	54 時間 00 分	302 人

(日別等の詳細は、別紙のとおり)

4 ランブン州災害対策関係者との連携

日本チームは、主に次に掲げる関係機関と連携を図りながら活動を行った。

特に、BPPT(応用科学技術庁 Mr.バンバン)、空軍ナビゲーター(Mr.デデ)、SATKORLAK (州災害対策本部 Mr.リドワン)及び林政局森林警察指揮官(Mr.ナサルディ)は、空港指揮本部に常駐し、当チームの活動に対してサポートがあった。

また、毎日のモニタリングの結果は、日報としてまとめ、BPPT・SATKORLAK に対し情報提供した。

(1) SATKORLAK(州災害対策本部)

(2) 林業省森林火災プロジェクトチーム

(3) ランブン州林政局森林警察

(4) BPPT(応用科学技術庁)

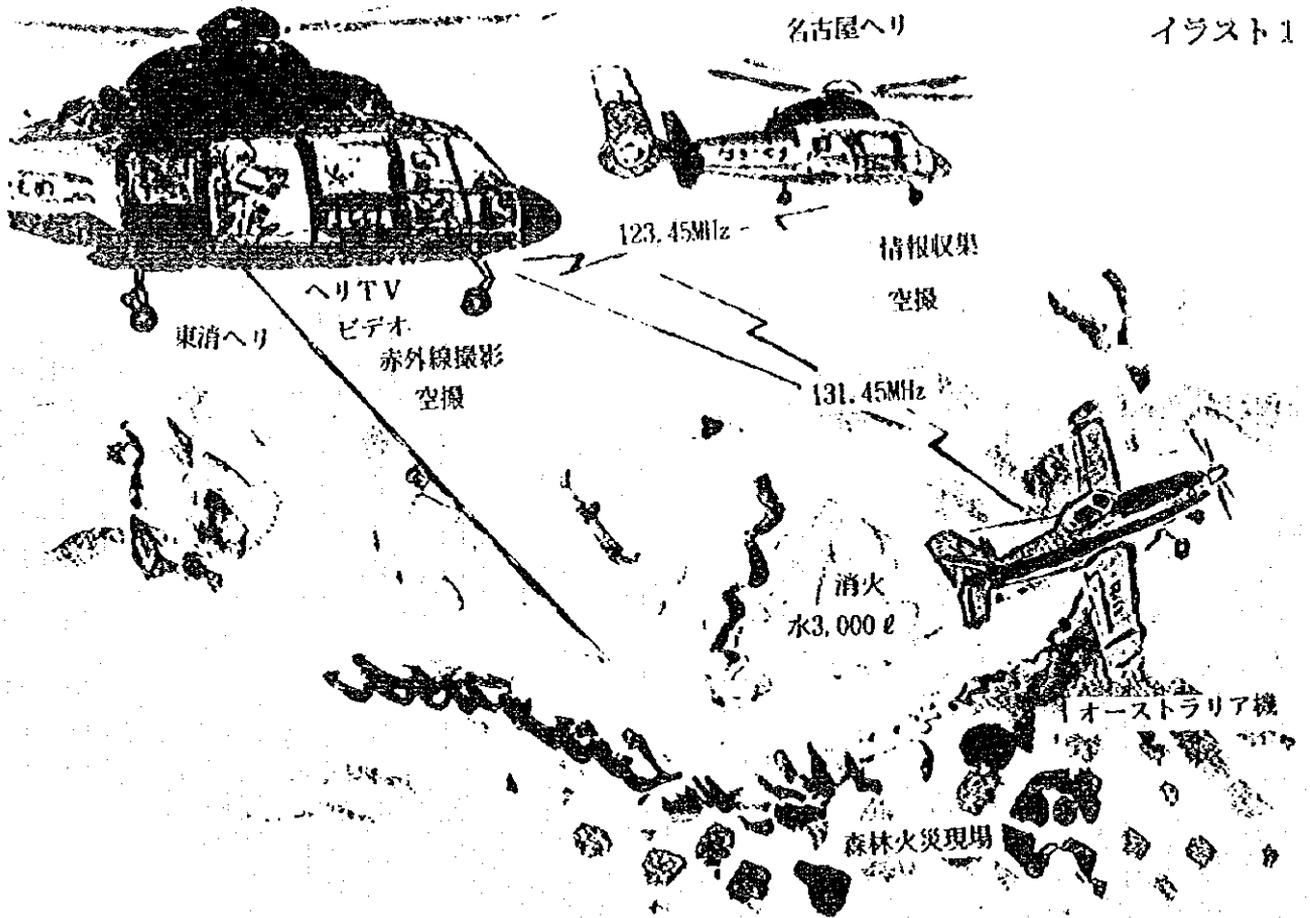


イラスト1

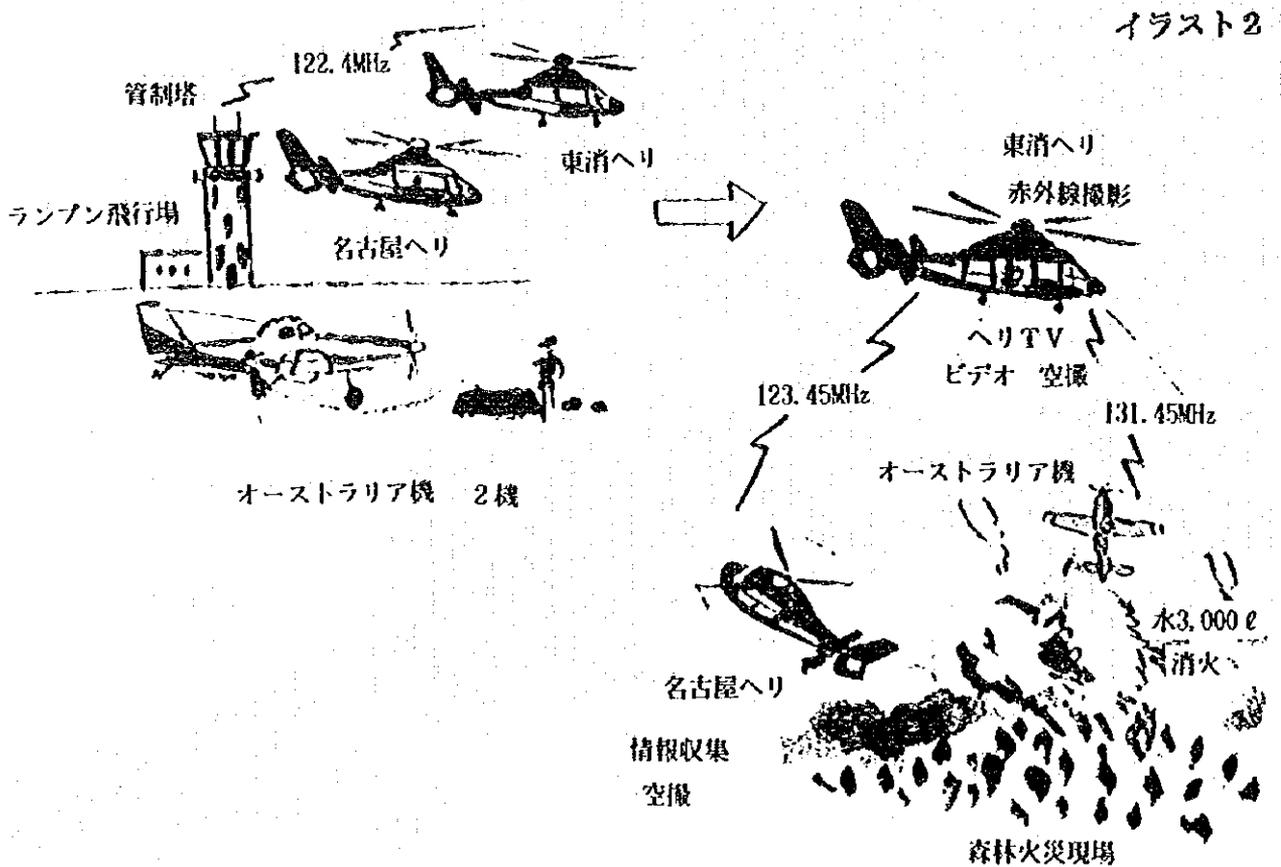


イラスト2

イ ン ド ネ シ 7 ア 森 林 火 災 災 害 飛 行 時 間 等 記 録 表

97.10.25 ~

月 日	東京消防庁 (かちめ)				名古屋消防局 (なごや)				累計				
	任務	出発地	目的地	乗組員等	飛行時間	補給量	任務	出発地	目的地	乗組員等	飛行時間	補給量	累計
10.25	テスト	3AM/Am9	3AM/Am9	P: 池田、池田 M: 吉田、与那	11:40 ~ 11:50 (0:10)	0 +30	テスト	3AM/Am9	3AM/Am9	P: 原山、高橋 M: 山田、高橋	11:35 ~ 11:45 (0:10)	0	0:40
	テスト	3AM/Am9	3AM/Am9	P: 池田、池田 M: 吉田、与那	15:35 ~ 15:55 (0:20)	7 0 0							
10.26	輸送	3AM/Am9	ハリム	P: 池田、池田 M: 上西、与那	13:00 ~ 13:35 (0:35)	0:50	輸送	3AM/Am9	ハリム	P: 原山、高橋 M: 山田、高橋	13:00 ~ 13:35 (0:35)	0:50	1:40
	展示	ハリム	ハリム	P: 池田、池田 M: 上西、与那	14:55 ~ 15:10 (0:15)	1:20	展示	ハリム	ハリム	P: 原山、高橋 M: 山田、高橋	14:55 ~ 15:10 (0:15)	1:00	2:20
10.27	展示	ハリム	ハリム	P: 池田、池田 M: 上西、与那	10:35 ~ 10:50 (0:15)	1:25	展示	ハリム	ハリム	P: 原山、高橋 M: 山田、高橋	10:35 ~ 10:50 (0:15)	1:25	2:50
	輸送	ハリム	ランブ	P: 池田、池田 M: 上西、与那	13:00 ~ 14:10 (1:10)	2:45	輸送	ハリム	ランブ	P: 原山、高橋 M: 山田、高橋	13:00 ~ 14:10 (1:10)	2:25	5:10
10.28	調査 1 回	ランブ	ランブ	P: 伊藤、池田 M: 上西、細川	14:25 ~ 16:05 (1:40)	1:40	調査 1 回	ランブ	ランブ	P: 原山、高橋 M: 山田、高橋	14:25 ~ 16:05 (1:40)	1:40	3:20
					4:25	4:25					4:05	4:05	8:30
10.29	調査 3 回	ランブ	ランブ	P: 池田、池田 M: 上西、与那	9:30 ~ 10:30 (1:00)	2:50	調査 3 回	ランブ	ハリム	P: 原山、高橋 M: 山田、高橋	9:30 ~ 10:30 (1:00)	2:50	5:40
					11:30 ~ 12:30 (1:00)	9 0 0					11:30 ~ 12:30 (1:00)	6:55	14:10
					13:55 ~ 14:45 (0:50)	7:15					13:55 ~ 14:45 (0:50)		
10.30	調査 3 回	ランブ	ランブ	P: 池田、池田 M: 上西、与那	9:30 ~ 10:30 (1:00)	3:00	調査 3 回	ランブ	ランブ	P: 原山、高橋 M: 山田、高橋	9:30 ~ 10:30 (1:00)	2:00	5:00
					11:30 ~ 12:30 (1:00)	9 0 0					11:30 ~ 12:30 (1:00)	8:55	19:10
					14:05 ~ 15:05 (1:00)	10:15							
10.31	調査 2 回	ランブ	ランブ	P: 池田、池田 M: 上西、与那	9:30 ~ 11:00 (1:30)	3:00	調査 2 回	ランブ	ランブ	P: 原山、高橋 M: 山田、高橋	9:30 ~ 11:00 (1:30)	3:00	6:00
					12:25 ~ 13:55 (1:30)	13:15					12:25 ~ 13:55 (1:30)	11:55	25:10

月日	東京消防庁 (かもめ)				名古屋消防局 (なごや)				集計						
	任務	出発地	目的地	乗組員等	飛行時間	補給量	任務	出発地	目的地	乗組員等	飛行時間	補給量	集計		
11.1	調査 2回	ランブ	ランブ	P: 池田、飯沼 M: 上西、細川	9:45 ~ 11:30 (1:45)	1,000 ℓ	テスト	ランブ	ランブ	P: 原山、船橋	10:30 ~ 11:10 (0:40)	ℓ	5:20		
				P: 前川、池田 M: 佐藤、吉里	12:50 ~ 14:20 (1:30)					15:30	P: 石川、船橋 M: 船橋、大塚			12:50 ~ 14:15 (1:25)	14:00
11.2	調査 2回	ランブ	ランブ	P: 伊藤、前川 M: 香田、与那	9:30 ~ 11:00 (1:30)	700 ℓ	調査 1回	ランブ	ランブ	P: 石川	9:30 ~ 11:00 (1:30)	ℓ	4:15		
				P: 飯沼、前川 M: 上西、池田	12:25 ~ 13:40 (1:15)					13:30	P: 石川、船橋 M: 船橋、大塚			15:30	34:45
11.3	輸送 4回 調査	ランブ	ランブ	P: 飯沼、池田	9:30 ~ 10:30 (1:00)	1,100 ℓ	輸送 4回 調査	ランブ	ランブ	P: 石川	9:30 ~ 10:30 (1:00)	ℓ	7:15		
				P: 上西、細川	10:45 ~ 11:30 (0:45)					10:30 ~ 11:30 (1:00)	P: 原山、船橋			10:30 ~ 11:30 (1:00)	3:45
				P: 伊藤、飯沼	13:00 ~ 13:50 (0:50)					22:45	P: 石川			13:00 ~ 13:50 (0:50)	18:15
				P: 佐藤、吉里	13:50 ~ 14:45 (0:55)					2:50	P: 石川、船橋			13:50 ~ 14:45 (0:55)	42:00
11.4	調査 2回	ランブ	ランブ	P: 伊藤、前川 M: 佐藤、吉里	9:45 ~ 11:00 (1:15)	900 ℓ	調査 2回	ランブ	ランブ	P: 石川	9:45 ~ 11:00 (1:15)	ℓ	5:40		
				P: 池田、伊藤 M: 香田、与那	12:45 ~ 14:20 (1:35)					25:35	P: 原山、北村 M: 船橋、大塚			12:45 ~ 14:20 (1:35)	22:05
11.5	調査 1回	ランブ	ランブ	P: 池田、飯沼 M: 香田、与那	9:45 ~ 10:15 (0:30)	200 ℓ	調査 1回	ランブ	ランブ	P: 石川	9:45 ~ 10:15 (0:30)	ℓ	1:00		
				P: 前川、池田 M: 上西、細川	2:40					P: 原山、船橋 M: 船橋、大塚	22:35			48:40	
11.6	調査 2回	ランブ	ランブ	P: 前川、飯沼 M: 上西、細川	9:20 ~ 10:50 (1:30)	800 ℓ	調査 2回	ランブ	ランブ	P: 石川	9:20 ~ 10:50 (1:30)	ℓ	5:20		
				P: 飯沼、前川 M: 佐藤、与那	28:45					P: 石川、原山 M: 船橋、大塚	12:30 ~ 13:40 (1:10)			25:15	54:00

ホットスポット調査一覧表 (SURVAY OF HOT SPOT)

火災№ SPOT№	調査日時 TIME OF SURVAY	位 置 LOCATION	方位 DIREC- TION	空港からの距離 DISTANCE AIRPORT	再調査有無 NECESSITY OF MONIT.
1-1	10月30日 9:58	E 104° 49 S 5° 15	270 °	27マイル	無
1-2	10月30日11:45	E 104° 44 S 5° 11	280 °	27マイル	有 11/6再調査
2-1	10月30日10:19	E 104° 44 S 5° 10	280 °	27マイル	無
2-2	10月30日10:19	E 104° 44 S 5° 10	280 °	27マイル	無
3	10月30日10:25	E 104° 44 S 5° 9	282 °	27マイル	無
4	10月30日12:10	E 104° 41 S 5° 11	276 °	30マイル	無
5	10月30日 9:45	E 104° 49 S 5° 15	266 °	21マイル	消火済
6	10月31日 9:56	E 104° 49 S 5° 29	245 °	31マイル	無
7	10月31日10:12	E 104° 22 S 5° 38	240 °	53マイル	有
8	10月31日12:44	E 104° 26 S 5° 9	276 °	44マイル	無
9	10月31日12:54	E 104° 22 S 5° 9	277 °	48マイル	無
10	10月31日13:00	E 104° 21 S 5° 7	279 °	50マイル	無
11	10月31日13:13	E 104° 06 S 5° 3	281 °	64マイル	有
12	10月31日13:23	E 104° 19 S 5° 3	282 °	51マイル	有
13	10月31日13:31	E 104° 33 S 5° 6	283 °	37マイル	無
14	10月31日13:36	E 104° 39 S 5° 9	281 °	30マイル	有 11/6再調査
15	11月 1日10:12	E 104° 57 S 5° 11	286 °	14マイル	無 11/6再調査
16	11月 1日11:00	E 104° 28 S 4° 51	300 °	47マイル	無
17	11月 1日11:11	E 104° 28 S 4° 53	297 °	47マイル	有 11/6再調査
18	11月 1日11:16	E 104° 32 S 4° 55	300 °	44マイル	有
19	11月 1日13:10	E 105° 34 S 5° 15	90 °	24マイル	有
20	11月 1日13:16	E 105° 37 S 5° 13	90 °	38マイル	有
21	11月 1日13:45	別図参照	90 °	——	有
22	11月 1日13:34	別図参照	40 90	——	有
23	11月 2日10:00	E 105° 39 S 4° 38	33 °	46マイル	有
24	11月 2日10:05	E 105° 34 S 4° 29	25 °	50マイル	有
25	11月 2日10:22	E 105° 07 S 4° 26	330 °	49マイル	無
26	11月 4日10:08	E 105° 11 S 5° 35	178 °	21マイル	無

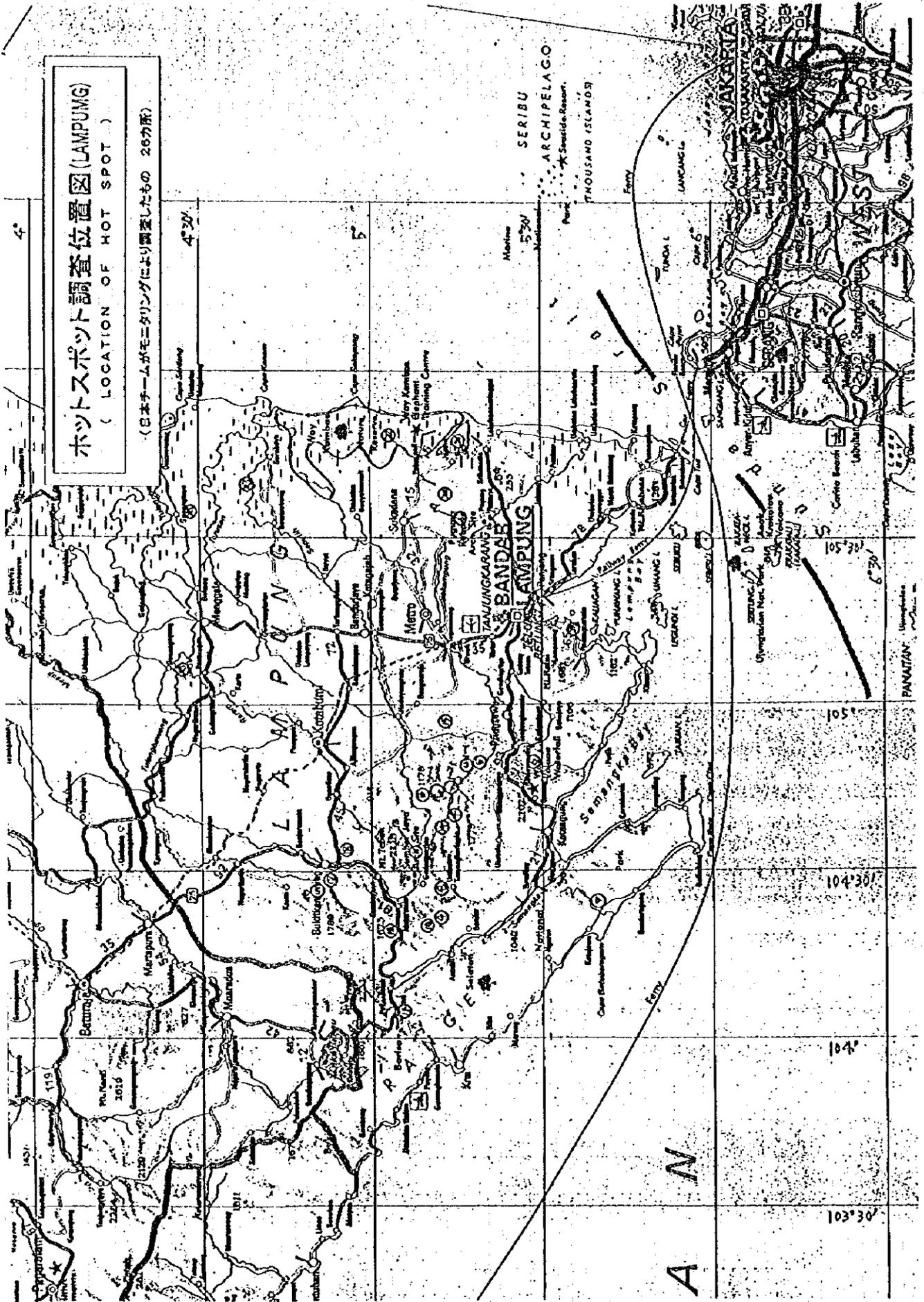
※ 森林火災としての定義

森林の計画的育成や開発に伴う野焼きは、通常道路等で防火帯を設け伐採木し、乾燥を待ってから行われるものであり、防火帯が設けられていない青く繁った雑木が燃焼拡大の様相を呈している場合は、人のコントロール下に置かれていない「森林火災」と判断した。

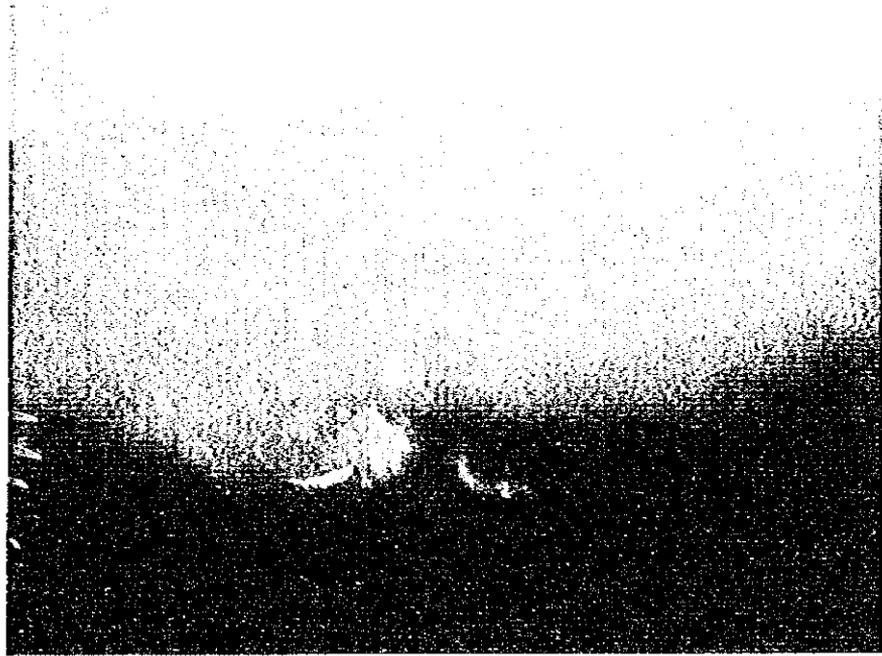
ホットスポット調査位置図(LAMPUNG)

(LOCATION OF HOT SPOT)

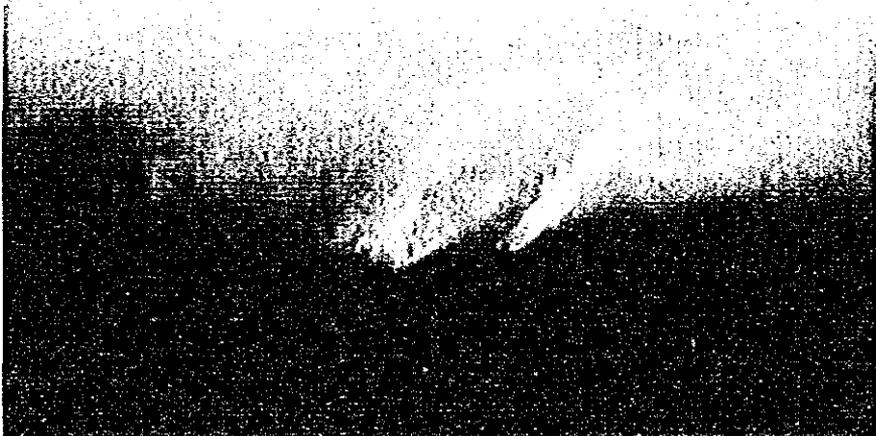
(日本チームがモニタリングにより調査したものを 26カ所)



ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 1-1
		
(オーストラリア隊の任意番号はP49)		撮影方位 南
		ビデオNo /
調査月日	10月30日(木)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 判別できず</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢であり延焼方向についても不明である。</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 保安林内に位置し、近くに集落や田畑が見られな い箇所の火災で、入山者による火の使用が原因と考 えられる。比較的新しいホットスポットで、複数確 認できたが、中心的な箇所をオーストラリア隊のエ アトラフター802Aが消火を行っている。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無し</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。</p>
気象状況	晴天	
方休時間	開始9時30分から 終了10時30分まで	
調査時刻	9時58分	
場 所	E104°44 S 5°11	
方 位	西 (磁北)	
距 離	空港から マイル	
経 過	<p>10/30 S 50 11 煙りが立ち上っているところ</p> <p>9:58 E1040 44 50 オーストラリアがW-ou-b (中心より下の白い線状のものが豪州飛行隊)</p>	

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 1-2	
			
(オーストラリア隊の任意番号はP49)		撮影方位	ビデオNo /
調査月日	10月30日(木)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 約20ha 斜面全方向</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢 山頂に向けてゆっくり</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 当地域は保安林内で周囲の森林は荒れておらず、火災が所々に発生しており比較的新しいホットスポットと思われる。ヘリから炎は確認できず出火原因としては入山者の火の使用、森林開発、落雷、飛火等も考えられる。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無し</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。</p>	
気象状況	晴天		
作業時間	開始11時30分から 終了12時30分まで		
調査時刻	11時45分		
場所	E104°44 S 5°11		
方位	西 (方位磁)		
距離	空港から マイル		
経過	<p>11/6 13:23 火災は若干東へ移動している。</p>		

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 2-1	
			
		撮影方位	ビデオNo. /
調査月日	10月30日(木)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 不明 斜面西側</p> <p>2 延焼速度と方向 不明</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 乾燥した雑木林で樹木の密度が低い。過去に幾度か火が入っている可能性が高い。保安林内に位置する。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無し</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。火点付近には無し。</p>	
気象状況	晴天		
方什時間	開始9時30分から 終了10時30分まで		
調査時刻	10時19分		
場 所	E104°44 S 5°10		
方 位	西 (競走場)		
距 離	空港から マイル		
経 過			

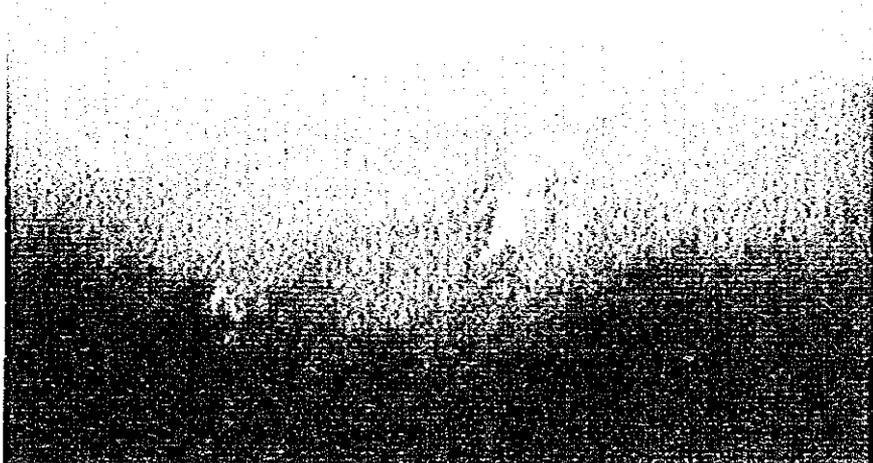
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号 No. 2-2

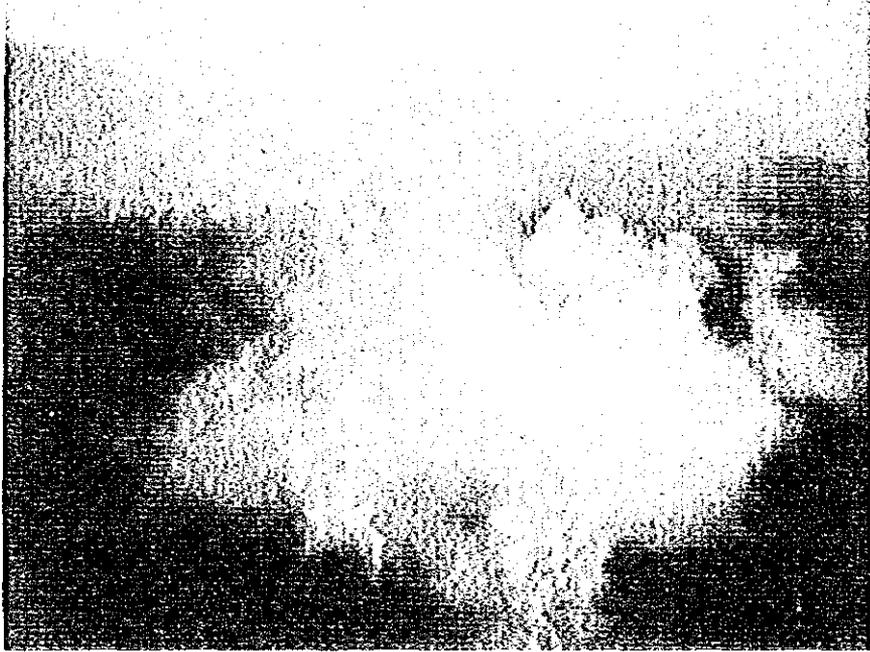


		撮影方位	ビデオNo /
調査月日	10月30日(木)	火災の状況(実態の把握) 1 延焼範囲 不明 斜面東側 2 延焼速度と方向 不明 3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 人為による攪乱の少ない深い雑木林で突は確認出来ない。当地域は保安林内で入山者の火の使用による火災の可能性が考えられる。比較的、新しいホットスポットと思われる。 4 河川等の防火帯の有無 無し。 5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。火点付近には無し。	
気象状況	晴天		
万休時間	開始9時30分から 終了10時30分まで		
調査時刻	10時19分		
場所	E 104° 44 S 5° 10		
方位	西 (観測点)		
距離	空港から マイル		
経過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火 災 番 号	No. 3		
		撮影方位	ビデオNo. /
調査月日	10月30日(木)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 斜面西側</p> <p>2 延焼速度と方向 延焼速度は緩慢であり、延焼方向についても不明である。</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 当地域は深い雑木林で(保安林内)人為による攪乱は少ない。入山者の林内での火の使用による火災の可能性が考えられる。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無し。</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。</p>	
気象状況	晴天		
万休時間	開始9時30分から 終了10時30分まで		
調査時刻	10時19分		
場 所	E104°44 S 5°9		
方 位	西 (空襲地)		
距 離	空港から マイル		
経 過			

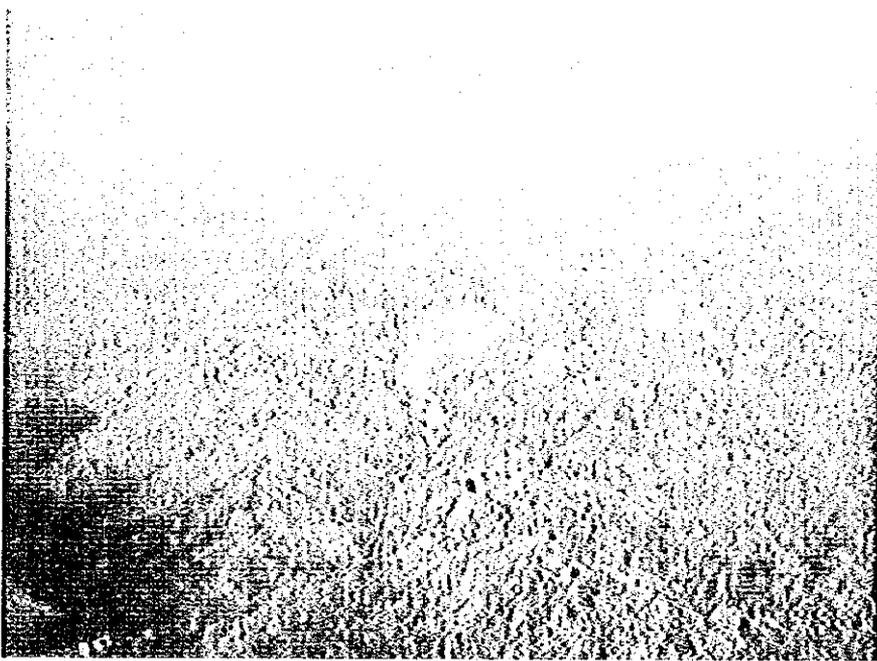
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 4
		
		撮影方位
		ビデオNo. /
調査月日	10月30日(木)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 斜路北・南側</p> <p>2 延焼速度と方向 延焼速度は緩慢であり、方向にあっても不明である。</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 当地域は保安林で、荒廃した雑木林である。比較的時間の経過したホットスポットであり、焼き畑の火入れからの延焼の可能性が高い。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無し。</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に影響が認められる。</p>
気象状況	晴天	
万休時間	開始11時30分から 終了12時30分まで	
調査時刻	12時10分	
場所	E 104° 41 S 5° 11	
方位	西 (望遠鏡)	
距離	空港から マイル	
経過		

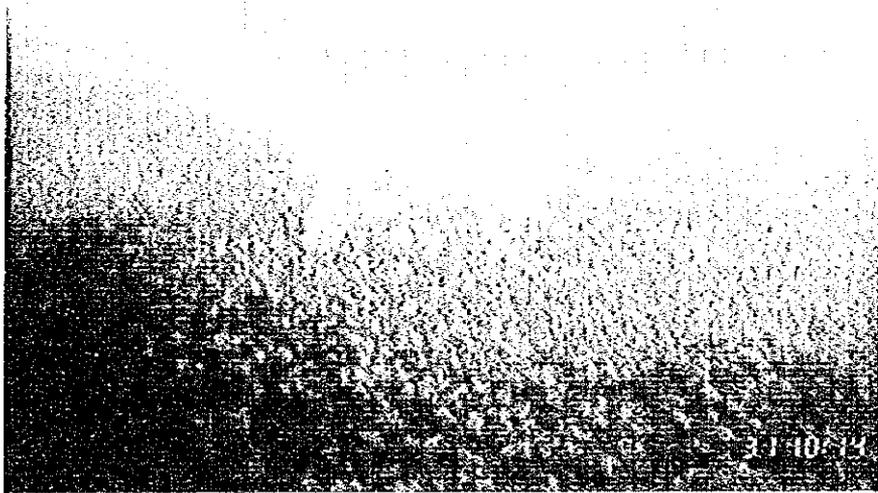
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 5
		
(オーストラリア隊の任意番号はP62)		撮影方位 南
		ビデオNo /
調査月日	10月30日(木)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 約100haの消火痕 斜面(南側)</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢、早い、急・方向</p> <p>3 燃焼の形態〔樹木(植性)・地表面〕 全体が雑木林。過去、複数回にわたって火が入ったと思われる。出火原因としては、プランテーション造成のための野焼きも考えられる。 山全体に大規模な消火痕あり。10/29のフライト時煙が確認出来たが、現在は完全に無くなっている。オーストラリア隊の消火活動が有効であったと思われる。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無し</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 上空に認められるが、火点付近は特に無し。</p>
気象状況	晴天	
方休時間	開始9時30分から 終了10時30分まで	
調査時刻	9時45分	
場所	E104°49 S05°15	
方位	西 (磁北点)	
距離	空港から マイル	
経過	<p>本ポイントは、オーストラリア隊に対して、誘導等を含め情報提供を行っており、また、消火効果についても写真及びビデオにより結果情報を提供している。</p>	

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 6
		
		撮影方位 南東
		ビデオNo 2
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 小規模 平地・斜面(北)</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 丘陵地で人が入った道が出来ている。住民が意図的に下草の焼き払いをした際の残り火であることが考えられる。付近は伐採が進んでいて荒地化しており、急激に燃え広がる恐れがある。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>
気象状況	晴	
万休時間	開始09時 30分から 終了11時 00分まで	
調査時刻	9時56分	
場所	E 104° 49 S 5° 29	
方位	245度	
距離	空港から3.1マイル	
経過		

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 7
		
		撮影方位 西
		ビデオNo. 2
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 大規模点在 平地・斜面(緩西)</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 国立公園に繋がる保安林で火点は4か所で点状に広がっている。集落近くの森ではあるが焼畑ではない。木の幹が見え透けているため、人の手が入り込んで、伐採、狩猟をしている可能性がある。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>
気象状況	晴	
作業時間	開始09時30分から 終了11時00分まで	
調査時刻	10時12分	
場所	E104°22 S 5°38	
方位	240度	
距離	空港から53マイル	
経過		

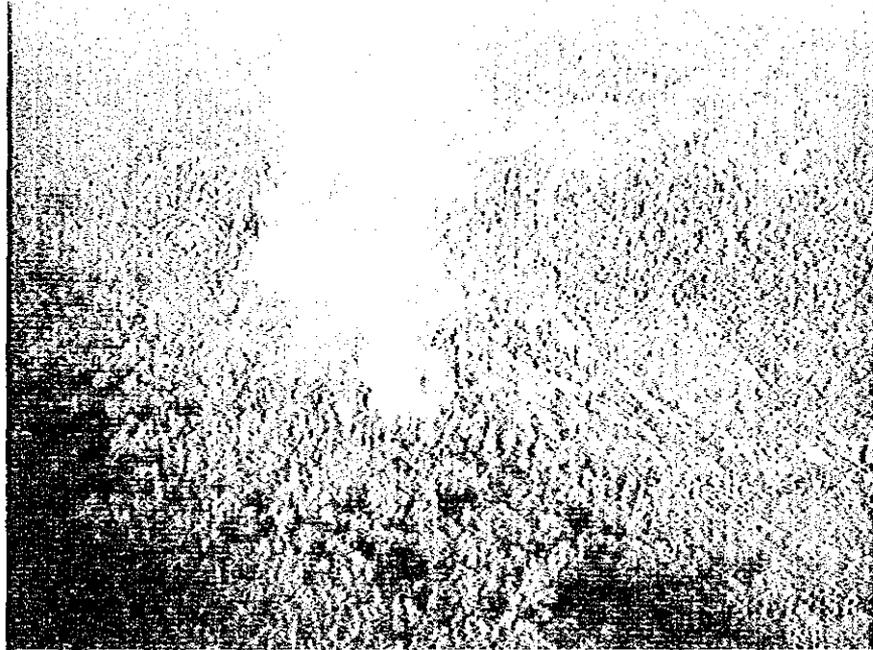
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 8
		
		撮影方位 東
		ビデオNo. 3
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 5ha 山頂付近</p> <p>2 延焼速度と方向 早い</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 火点は山頂付近で道沿いに焼いている痕跡が見られるため、人為的に起こった可能性が大である。現在は規模的に小さいものの、山間部であるため強風が起これば急激に延焼する危険が大きい。また周囲の樹木が枯れているため油断はできない。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>
気象状況	晴	
方什時間	開始12時 30分から 終了13時 55分まで	
調査時刻	12時44分	
場 所	E104°26 S 5°09	
方 位	276度	
距 離	空港から44マイル	
経 過		

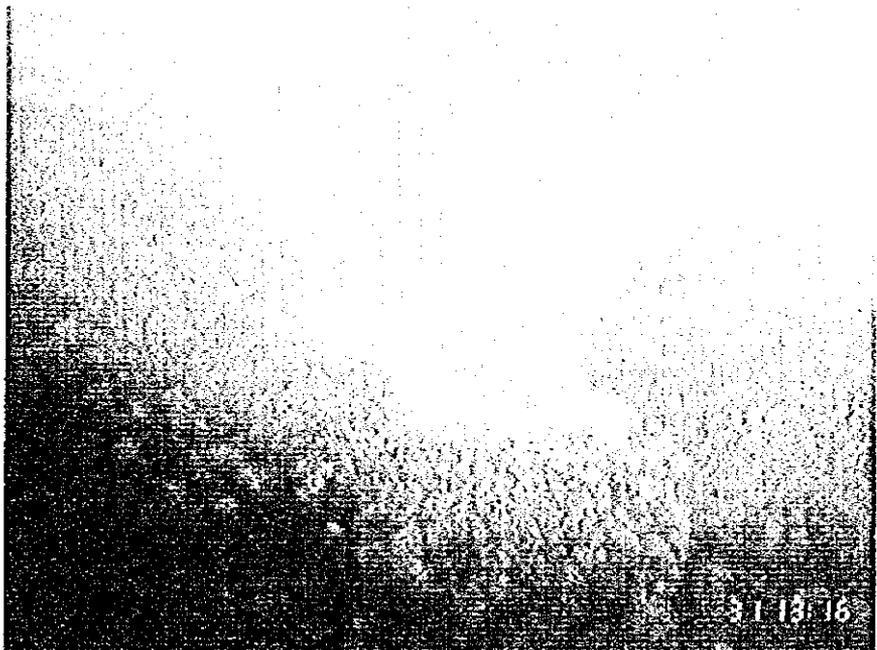
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 9	
			
			撮影方位 南
			ビデオNo 3
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 5ha 丘陵地の尾根</p> <p>2 延焼速度と方向 比較的緩慢</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 白煙が認められる周囲には焼畑の痕が複数箇所見られるが、最近に火入れをした形跡がないことから狩猟等のたき火が燃え移ったものと思われる。樹木が青々としており湿気が多いため延焼速度は比較的小さい。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>	
気象状況	晴		
万休時間	開始12時30分から 終了13時55分まで		
調査時刻	12時54分		
場所	E104°22 S 5°09		
方位	277度		
距離	空港から48マイル		
経過			

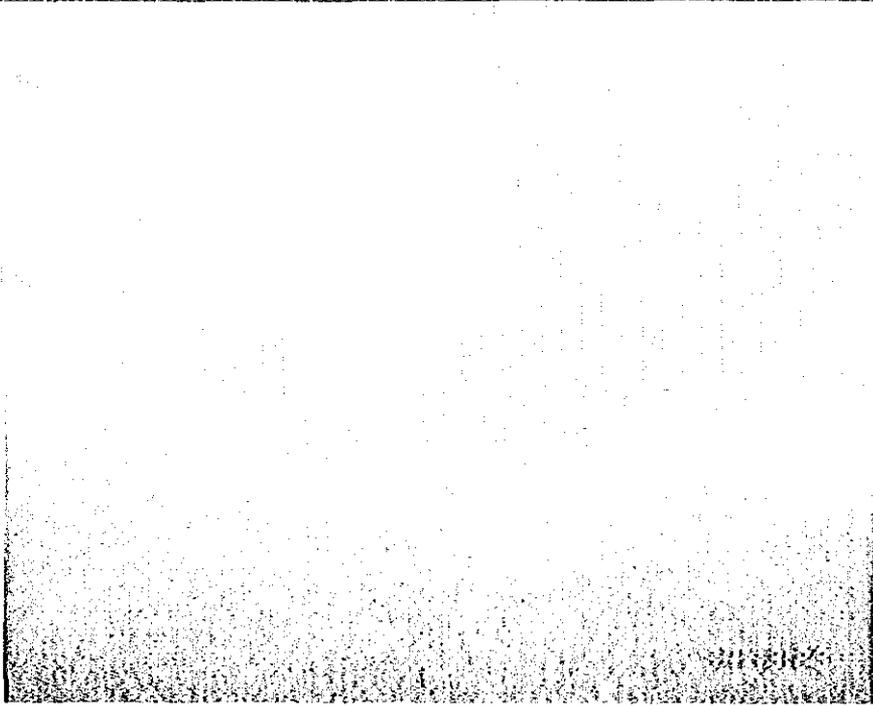
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 10	
			
		撮影方位	西
		ビデオNo.	3
調査月日	10月31日(金)	火災の状況(実態の把握)	
気象状況	晴	1 延焼範囲 3ha 丘陵地の西斜面	
万休時間	開始12時30分から 終了13時55分まで	2 延焼速度と方向 緩慢	
調査時刻	13時00分	3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 現場は畑地に挟まれた地点で、火入れが最近行われた形跡はない。白煙の上昇が認められるが棒状でないため、燻焼していると思われる。山麓から燃え上がったようであり、尾根に沿って燃え広がる可能性がある。原因は野火である可能性が大きい。	
場所	E104°21 S 5°07	4 河川等の防火帯の有無 無	
方位	279度	5 ヘイズ(煙害)の状況 無	
距離	空港から50マイル		
経過			

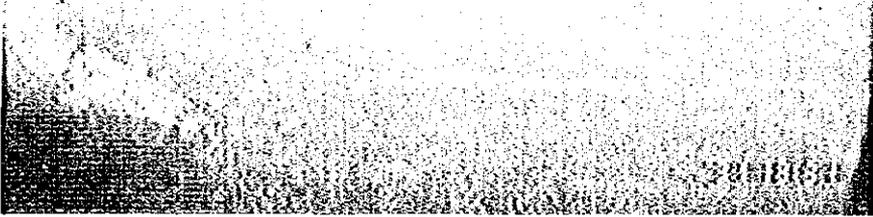
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 11	
			
		撮影方位	南
		ビデオNo.	3
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 5ha 丘陵地の東斜面</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 現場は保安林内で焼畑地が付近にまで迫っており、原生林に近いが人の手が入っている。開拓した際に行った焚き火等が、飛び火により燃え移ったのではないかと。谷と谷の間の地点であり、湿気が多い樹木であるため延焼速度は遅いと思われる。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>	
気象状況	晴		
万休時間	開始12時30分から 終了13時55分まで		
調査時刻	13時13分		
場所	E104°06 S 5°03		
方位	281度		
距離	空港から64マイル		
経過			

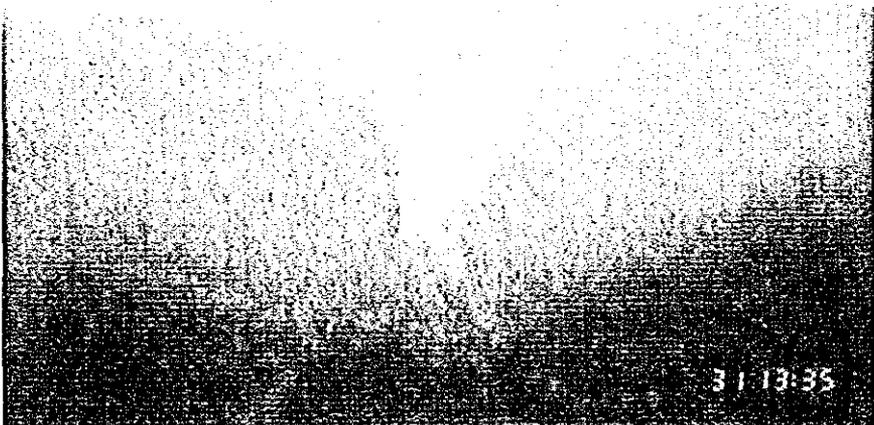
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 12	
			
		撮影方位	北
		ビデオNo.	3
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲100ha 丘陵地の北斜面</p> <p>2 延焼速度と方向 急速</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 保安林内の丘陵地で明らかな火災である。現場直近まで民家、畑地が迫っているため、人が入り込んで起こった火災であることは間違いない。森が荒れていてポツポツと白い樹木が見えており、延焼速度は相当に早いと思われる。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>	
気象状況	晴		
方休時間	開始12時30分から 終了13時55分まで		
調査時刻	13時23分		
場所	E104°19 S 5°03		
方位	282度		
距離	空港から51マイル		
経			
過			

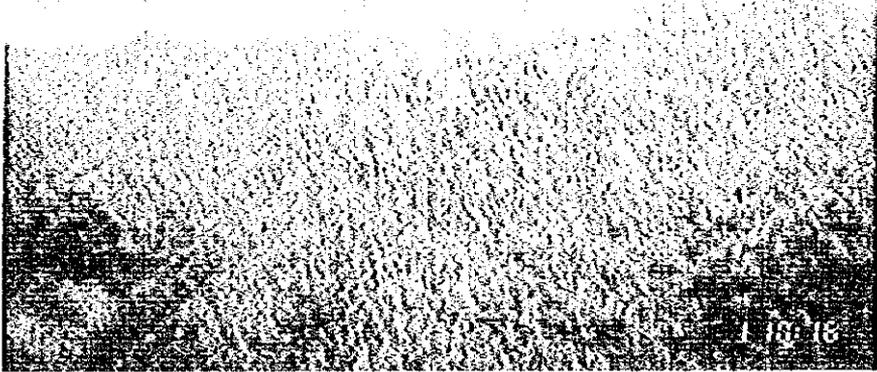
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号 No. 13			
			
		撮影方位 南	ビデオNo 3
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 10ha 丘陵地の南斜面</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 数カ所の白煙の上昇が認められ、焼畑の可能性もあるが、この地域は森林が荒れており下草も多いため乾燥度も高く延焼危険が大きい。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>	
気象状況	晴		
万休時間	開始12時 30分から 終了13時 55分まで		
調査時刻	13時31分		
場 所	E104°33 S 5°06		
方 位	285度		
距 離	空港から37マイル		
経 過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号 No. 14			
			
		撮影方位 北	ビデオNo. 3
調査月日	10月31日(金)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 20ha 丘陵地の北斜面</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面) 現場は保安林内の丘陵地頂上付近で、樹木は原生林の状態、周辺は人の手が入っている。明らかな火災であり付近で焼畑をした痕跡があるため、飛び火によることも考えられる。頂上付近のため天候によっては急激に拡大する可能性がある。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況 無</p>	
気象状況	晴		
万休時間	開始12時30分から 終了13時55分まで		
調査時刻	13時36分		
場所	E104°39 S 5°09		
方位	281度		
距離	空港から30マイル		
経過			

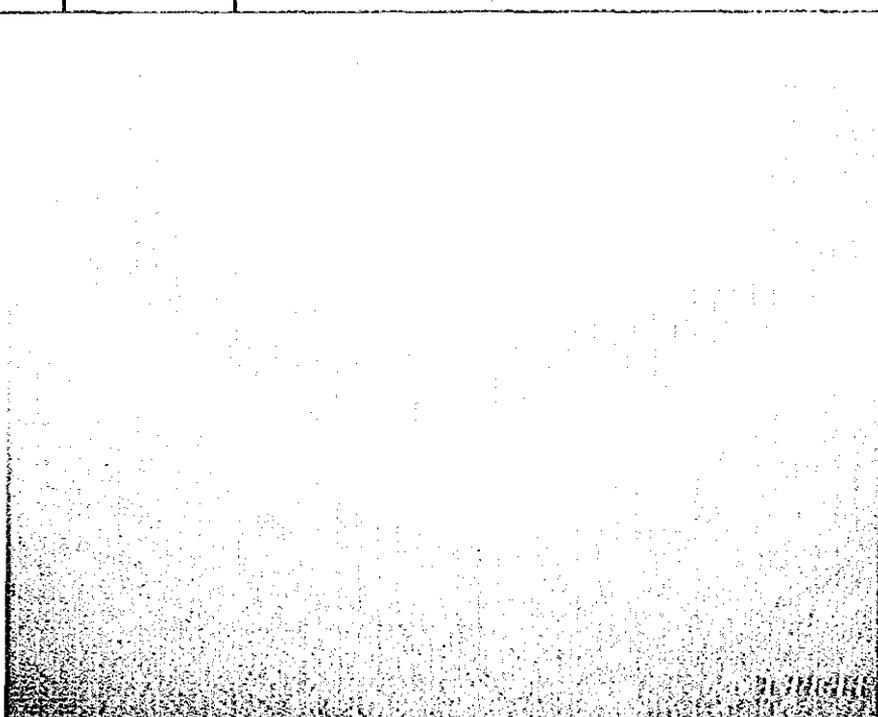
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 15	
			
		撮影方位	ビデオNo.
調査月日	11月 1日 (土)	<p>火災の状況 (実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 0.5ha 南斜面)</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態 (樹木 (植性)・地表面) 一点から煙が上がっている。おそらく人的なもの と思う。火の速度は遅く、今は下草が燃えているだ けである。回りの森林が燃えるようであれば危険で ある。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ (煙害) の状況 無</p>	
気象状況	晴		
万休時間	開始09時 45分から 終了11時 30分まで		
調査時刻	10時12分		
場 所	E104° 57 S 5° 11		
方 位	286度		
距 離	空港から14マイル		
経 過	<p>11/6 12:40 鎮火確認。</p>		

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 16	
			
			撮影方位
			ビデオNo. 4
調査月日	11月 1日 (土)	<p>火災の状況 (実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 10ha 谷地</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態 (樹木 (植性)・地表面) 付近に人家、道路があるので焼畑から拡大した のと思われる。今すぐに延焼する危険性はなし。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 有</p> <p>5 ヘイズ (煙害) の状況 無</p>	
気象状況	晴		
万休時間	開始 9時 45分から 終了 11時 30分まで		
調査時刻	11時 00分		
場 所	E 104 ° 28 S 4 ° 51		
方 位	度 _____		
距 離	空港から _____ マイル		
経 過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 17	
			
			撮影方位 南
			ビデオNo 4
調査月日	11月 1日 (土)	<p>火災の状況 (実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 小規模 丘陵地の尾根</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態 (樹木 (植性) ・地表面) 一点から火が出ている。No 15と似た火災であり、人的に燃やしたものであろう。今後発展する危険性がある。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 無</p> <p>5 ヘイズ (煙害) の状況 無</p>	
気象状況	晴		
方付時間	開始 9時 45分から 終了 11時 30分まで		
調査時刻	11時 11分		
場 所	E 104 ° 28 S 4 ° 53		
方 位	度 _____		
距 離	空港から マイル _____		
経 過	<p>11/6 12:58</p> <p>火災は若干西へ移動し、縮小している。</p>		

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 18	
			
		撮影方位	ビデオNo. 4
調査月日	11月 1日 (土)	<p>火災の状況 (実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 1ha 平地</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態 (樹木 (植性) ・地表面) 焼畑から拡大したものと思われる。他への延焼危険は急速にはないが、風等の影響で燃え広がる可能性もある。しかし、道路のそばなので阻止はできるであろう。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 人道</p> <p>5 ヘイズ (煙害) の状況 無</p>	
気象状況	晴		
方休時間	開始 9時 45分から 終了 11時 30分まで		
調査時刻	11時 16分		
場所	E 104° 32 S 4° 55		
方位	300度		
距離	空港から 44マイル		
経			
過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 19	
			
			撮影方位 北西
			ビデオNo 5
調査月日	11月 1日(土)	<p>火災の状況(実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 約 1ha 低丘陵地の斜面</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢</p> <p>3 燃焼の形態(樹木(植性)・地表面)</p> <p>(1) 広大な焼け跡の北側に、延焼範囲が認められる</p> <p>(2) この付近には、同程度の火災が点在している。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無</p> <p>北側に空地がある。</p> <p>5 ヘイズ(煙害)の状況</p> <p>ヘイズの影響が多少認められる。</p>	
気象状況	晴		
万休時間	開始12時 50分から 終了14時 15分まで		
調査時刻	13時10分		
場所	E105°34 S 5°15		
方位	90度		
距離	空港から24マイル		
経過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 20	
			
			撮影方位 南東 ビデオNo 5
調査月日	11月 1日 (土)	火災の状況 (実態の把握) 1 延焼範囲 約 600ha 平地 2 延焼速度と方向 緩慢 3 燃焼の形態 (樹木 (植生) ・地表面) (1) 野焼きから延焼拡大したものと考えられる。 (2) 数カ所から煙が上がる。 4 河川等の防火帯の有無 北側方向に河川有 5 ヘイズ (煙害) の状況 有	
気象状況	晴		
万休時間	開始12時 50分から 終了14時 15分まで		
調査時刻	13時16分		
場 所	E105° 37' S 5° 13'		
方 位	90度		
距 離	空港から38マイル		
経 過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号 No. 21エリア



撮影位置 1

ビデオNo 5

調査月日	11月 1日 (土)	火災の状況 (実態の把握) 1 延焼範囲 別図参照 平地 ワイカンバス国立公園付近 2 延焼速度と方向 緩慢 北 3 燃焼の形態 (樹木 (植性) ・地表面) 泥炭層の延焼形態が認められる。 4 河川等の防火帯の有無 河川はあるもののエリア内は広範囲で延焼している。 5 ヘイズ (煙害) の状況 大量のヘイズが発生している。
気象状況	晴	
方什時間	開始12時 50分から 終了14時 15分まで	
調査時刻	13時45分	
場 所	別図参照	
方 位	90度	
距 離	空港から マイル	

経

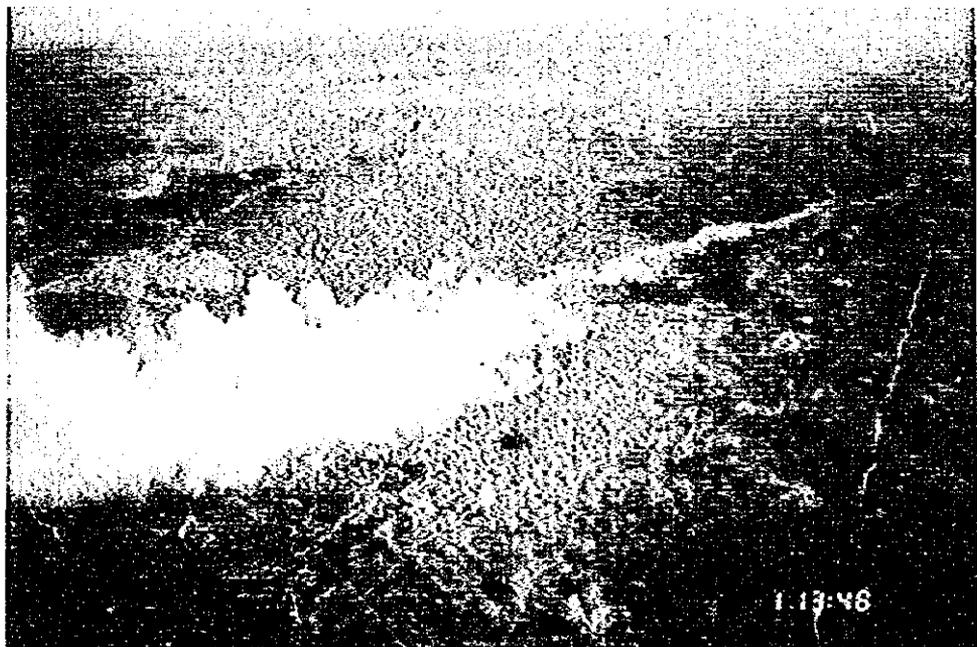
過

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号 No. 21エリア

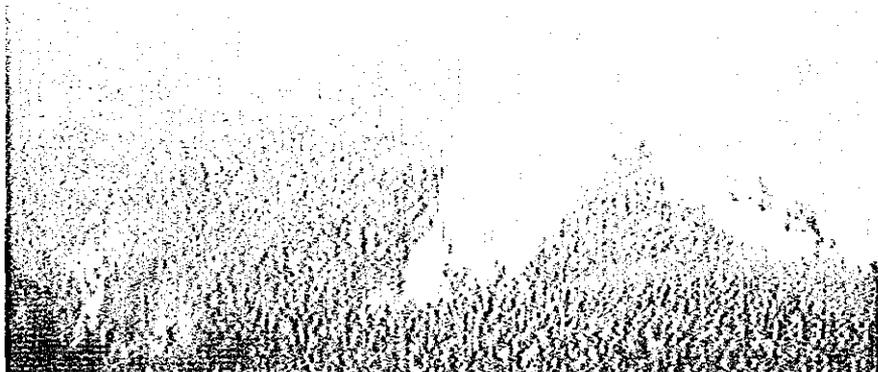


撮影位置 2



撮影位置 3

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 22 エリア	
			
		撮影位置	1
		ビデオNo.	5
調査月日	11月 1日 (土)	<p>火災の状況 (実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 平地 別図に示すエリアのワイカンバス国立公園内に、広範囲に山林火災が点在し、延焼拡大している。</p> <p>2 延焼速度と方向 緩慢 北</p> <p>3 燃焼の形態 (樹木 (植性) ・地表面) 地表面の可燃物と泥炭層が、広範囲に延焼していると思われる。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 東側は海に接しており、また、このエリア内には幾つかの河川があるが、すでに全域で延焼拡大している。</p> <p>5 ヘイズ (煙害) の状況 非常に大量の煙が発生し、ヘイズ発生 of 要因となっている。</p>	
気象状況	晴		
作業時間	開始12時 50分から 終了14時 15分まで		
調査時刻	13時34分		
場所	別図参照		
方位	45~90度		
距離	空港から マイル		
経			
過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号 No. 22エリア



撮影位置 2

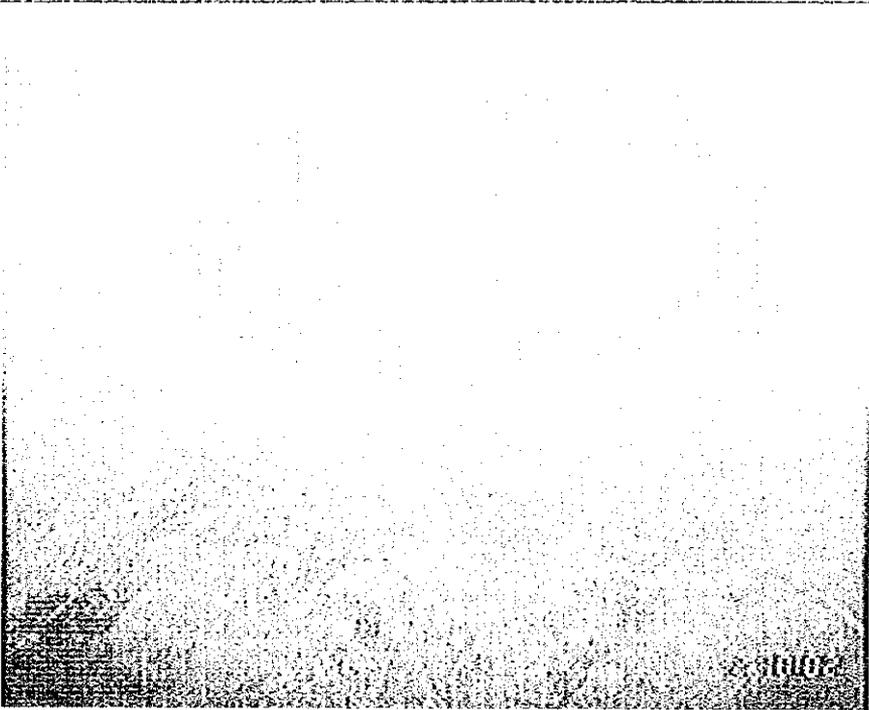


撮影位置 3

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号	No. 22エリア
	
撮影位置 4	

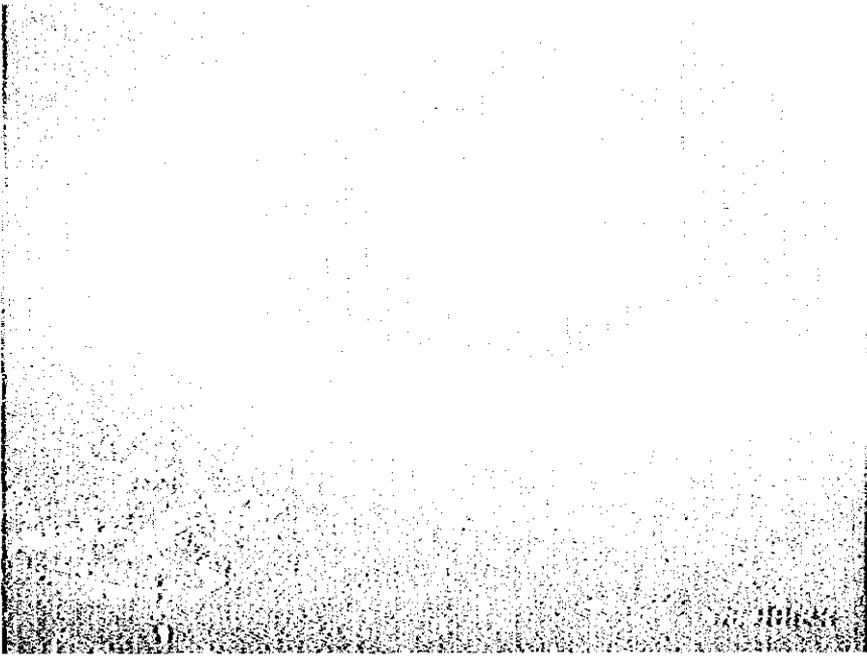
ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 23	
			
			撮影方位 西
			ビデオNo 6
調査月日	11月 2日 (日)	<p>火災の状況 (実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 約 1ha 平地</p> <p>2 延焼速度と方向 速い・北側</p> <p>3 燃焼の形態 (樹木 (植性)・地表面)</p> <p>(1) 周囲は焼け畑の跡が広がっていることから、そこから青く繁ったブッシュへと延焼していったと思われる。</p> <p>(2) 付近には民家が点在している。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 火点南側約1Kmの位置に河川有り。</p> <p>5 ヘイズ (煙害) の状況 上空に白煙が滞留しヘイズの影響が多少認めあり。</p>	
気象状況	晴		
万什時間	開始9時35分から 終了11時00分まで		
調査時刻	10時00分		
場 所	E 105° 39 S 4° 38		
方 位	33度		
距 離	空港から46マイル		
経 過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

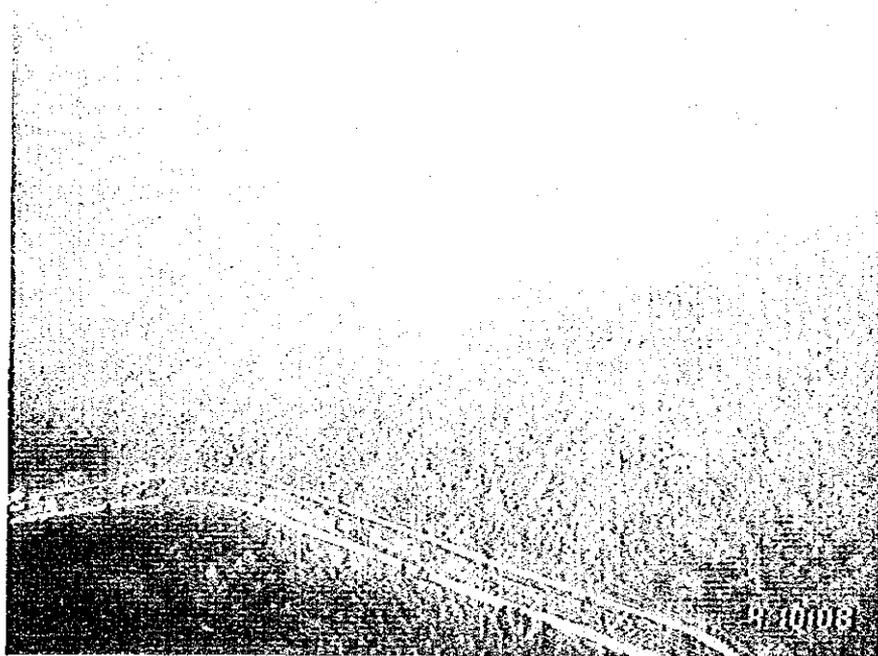
火災番号		No. 24	
			
		撮影方位	南
		ビデオNo	6
調査月日	11月 2日 (日)	<p>火災の状況 (実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 約 20ha 平地</p> <p>2 延焼速度と方向 速い・北方向</p> <p>3 燃焼の形態 (樹木 (植性) ・地表面)</p> <p>(1) 周囲は焼け畑の跡が広がっていることから、そこから青く繁ったブッシュへと延焼していったとされる。</p> <p>(2) 付近には民家が点在している。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 西側方向に河川有り。</p> <p>5 ヘイズ (煙害) の状況 上空に白煙が滞留。</p>	
気象状況	晴		
方付時間	開始9時35分から 終了11時00分まで		
調査時刻	10時05分		
場 所	E 105° 34' S 4° 29'		
方 位	25度		
距 離	空港から50マイル		
経 過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号		No. 25	
			
		撮影方位	南
		ビデオNo	6
調査月日	11月 2日 (日)	<p>火災の状況 (実態の把握)</p> <p>1 延焼範囲 約5ha 平地</p> <p>2 延焼速度と方向 速い・北方面へ</p> <p>3 燃焼の形態 (樹木 (植性)・地表面)</p> <p>(1) 周囲は焼け畑の跡が広がっていることから、そこから青く繁ったブッシュへと延焼していったとされる。</p> <p>(2) 付近には民家が点在している。</p> <p>4 河川等の防火帯の有無 周囲は道路である。</p> <p>5 ヘイズ (煙害) の状況 上空に白煙滞留。</p>	
気象状況	晴		
作業時間	開始9時35分から 終了11時00分まで		
調査時刻	10時22分		
場所	E105°07' S 4°26'		
方位	330度		
距離	空港から49マイル		
経			
過			

ホットスポットの状況及び推移調査表

火災番号 No. 26



撮影方位 西 ビデオNo 7

調査月日	11月 4日 (火)	火災の状況 (実態の把握) 1 延焼範囲 1 ha 斜面 小高い山の西斜面から5~7カ所の白煙発生 2 延焼速度と方向 緩慢 3 燃焼の形態 (樹木 (植性) ・地表面) 雑木林の小高い山 4 河川等の防火帯の有無 南側は海、西側は河川であり、この山以外に延焼 する危険はない。 5 ヘイズ (煙害) の状況 当日は東の風で、ワイカンバスからの煙が流れ込 んで、高度500mでの有視界は約5kmであった。
気象状況	曇 (ほいイズの影響)	
方什時間	開始 9時 45分から 終了11時 00分まで	
調査時刻	10時08分	
場 所	E 105 ° 11 S 5 ° 35	
方 位	178度	
距 離	空港から21マイル	

経

過